高等学校 令和7年度 教科 芸術 科目 音楽 [

単位数: 2 教 科: 芸術 科 目: 音楽 [単位

1, 2, 3, 4. 年次 (再履修除く) 対象年次:

【思考力、判断力、表現力等】

教科担当者: 一ノ戸 1 : 一ノ戸 **(2**) 一ノ戸 **(4**) 一ノ戸 一ノ戸 **6**) 3 (5) (7) (8) 9 (11) (10) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18)

使用教科書: (MOUSA1 (教育芸術者))

の目標 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文 化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 教科

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

の目標: 音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力 の目標: を育成することを目指す 科目 音楽 I

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協同的に学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		表現器		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
	【知識及び技能】 曲想と音楽構造や歌詞との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、どのように 歌うかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協同的に歌唱に取り組む。	校歌の斉唱	0				【知識・技能】 校歌の曲想、音楽構造、歌詞との関わりについて理 解できたか。 【思考・判断・表現】 表現意図を持って校歌を歌唱することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現にもとずいて、主体的に取りくめたか。	0	0	0	4
	【知識及び技能】 手拍子や足踏みなどの音色と奏法との関わり について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、どのように 演奏するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して演奏することに関心を 睦つ	・指導事項 ボディーパーカッション ・教材 ボディーパーカッションアンサ ンブル楽譜「ROCK TRAP」			0		【知識・技能】 曲にふさわしい奏法・身体の使い方、他者との調和 を意識して演奏できたか。 【思考・判断・表現】 表現意図を持って演奏することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループのメンバーで協力して、コミュニケーション を取りながら演奏を創り上げることができたか。	0	0	0	6
学期	実技試験	・校歌の歌唱・ボディパーカッション	0	0	0			0	0	0	2
刔	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、 音楽の文化的背景、他の芸術との関わりについ て理解する。 音楽の長とや美しさを味わって聴く。 主体的・協同的に鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 ミュージカルの鑑賞・数材 ミス・サイゴンDVD					【知識・技能】 ミス・サイゴンについて、どのような作品かを自分の 言葉で述べることができたか。 【思考・判断・表現】 曲に対する評価とその根拠について考えることができ たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の特徴や歴史的背景に関心を持ち、ワークシート を空成させることができたか。	0	0	0	4
	ギターの奏法について理解する。 音楽を形作っている要素を知覚し、どのように 演奏するかについて表現意図を持つ。 ギターの音色や奏法について関心を持ち、主体 的・協同的に器楽の学習活動に取り組む。	・指導事項 ギター独奏・教材 「ちょうちょう」 「きょうちょう」 「きかきの是」 「むすんでひらいて」 ギター用楽譜		0			【知識・技能】 曲に相応しい奏法や身体の使い方ができたか。 【思考・判断・表現】 表現意図を持って演奏することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 変勢、ギターの音色の出し方にこだわりながら演奏することができたか。	0	0	0	6
	実技試験、筆記試験	・ギターの演奏発表・リズムについて		0				0	0	0	2
2 学	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解する。 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術と の関わりを理解する。	・指導事項 オペラの鑑賞・教材 「カルメン」DVD				0	【知識・技能】 舞台芸術としてのオペラの特徴を理解できたか。 【思考・判断・表現】 曲に対する評価とその根拠について考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の特徴や歴史的背景に関心を持ちワークシートを 完成させることができたか。	0	0	0	14
	曲想と音楽構造や歌詞との関わりについて理解する。 音楽を形作っている要素を知覚し、どのように 歌うかについて表現意図を持つ。 主体的・協同的に歌唱に取り組む。	指導事項 混声四部合唱	0				【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解できたか 【思考・判断・表現】 表現意図を持って歌唱できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 が一ト練習等で主体的に練習を進めることができたか。	0	0	0	20
3	曲想と音楽構造や歌詞との関わりについて理解 する。 音楽を形作っている要素を知覚し、どのように 歌うかについて表現意図を持つ。 主体的・協同的に歌唱に取り組む。	・指導事項 J-POPの合唱	0				【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解できたか。 【思考・判断・表現】 表現意図を持って歌唱できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 バート練習等で主体的に練習を進めることができたか、	0	0	0	8
学期	音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、 曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 。 曲に対する評価とその根拠について考え、音楽 のよさや美しさを味わって聴く。 主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。	・指導事項 諸民族の音楽				0	【知識・技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、曲種に 応じ充発声との関わりについ理解できたか。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、知覚したことと感 受したことの関わりについて考えられたか、 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞の鑑賞活動に取り組めたか。	0	0	0	4 合計 70

高等学校 令和7年度 教科 芸術 科目美術I

教 科: 芸術 対象年次: 科 目: 美術 I 年次 (再履修除く) 単位数:

1, 2, 3, 4, 教科担当者: 川口 2 川口 川口 **⑤** 豊浦 豊浦 10 (12) (18)

使用教科書: 高校生の美術 1 日本文教出版 の目標: 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文 化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 教科 芸術

形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表す。 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協同的に学習活動に取り組む。

科目 美術 I

の目標: 絵画、彫塑、デザイン、映像メディアなど幅広い表現から観察力や想像力を養い、多様な表現力を身に付ける。 参考資料や映像などから様々な表現の作品鑑賞を行い、豊かな情操を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 「一ジなど」 「一ジなど」 「表す。」 「表すの特徴や美しさなどを基に、形や質感などの効果を考」 「主体的・協同的に学習活動に取り組む。 「元表す。」 「表す。」 「表すの特徴を美したりする。 【知識及び技能】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		表現 デ		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 【知識及び技能】 鉛筆デッサンの特性、技法を理解し、モチーフ の質感を描写する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの質感や形を理解し、構想を練って表 現する。 【学びに向かう力、人間性等】 描きたいイメージを、デッサンで追求する姿	・指導事項 生物デッサン(鉛筆画) ・教材 等 画用紙・テキスト・筆記用具・モチーフ など	0		0	0	【知識・技能】 鉛筆デッサンの技法を理解し、モチーフの質感を描写 できたか。 【思考・判断・表現】 モチーフの質感や形を理解し、構想を練って表現でき たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 描きたいイメージを、デッサンで追求できたか。	0	0	0	4
	8 単元 【知飯及び技能】 興味のある作品を選択する。 【思考力、判断力、表現力等】 色使いや構図などを捉え、再現する。 【学びに向かう力、人間性等】 参考作品の魅力を、自分なりの表現力で追求する。	・指導事項 模写 ・数材 等 教科書・テキスト・色鉛筆など	0		0	0	【知職・技能】 興味のある作品を選択できたか。 【思考・判断・表現】 色使いや構図などを捉え、再現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品の魅力を、自分なりの表現力で追求できるか。	0	0	0	8
1	定期考査 なし			!		·					
学期	○ 単元 【知識及び技能】 ボールペンの特性、技法を理解し、モチーフの 質感を描写する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの質感や形を理解し、構想を練って表 現する。 【学びに向かう力、人間性等】 描きたいイメージを、デッサンで追求する姿	・指導事項 生物デッサン (ボールペン画) ・教材 等 画用紙・テキスト・筆記用具・モチーフ など	0	0			【知識・技能】 鉛筆デッサンの技法を理解し、モチーフの質感を描写 できたか。 【思考・判断・表現】 モチーフの質感や形を理解し、構想を練って表現でき たか。 【主体的に学習に取り組む態度】 描きたいイメージを、デッサンで追求できたか。	0	0	0	16
	様性を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の意図や、作品がもつ魅力を自分なりに解 釈し感想を述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の表現を理解しようとする力。	・指導事項 鑑賞 ・教材 等 完成作品・教科書・画集・映像など			0	0	【知識・技能】 教科書や参考書籍、映像などを通し、美術の多様性を 学べたか。 【思考・判断・表現】 作者の意図や、作品がもつ魅力を自分なりに解釈し感 起を述べることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の表現を理解しようとしたか。	0	0	0	2
	定期考査										
2 学	興味のある人物と、その人物にちなんだキャッチフレーズを考え、構成を考えながら、転写の 技法をもちいて表現する。	・指導事項 色彩構成・フォント・転写 ・教材 等 パネル・アクリル絵の具・カーポン紙な ど	0	0		0	【知識・技能】 転写・色彩構成の技法を学べたか 【思考・判断・表現】 興味のある人物、キャッチフレーズを考え、イメージ 通りに表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人物やキャッチフレーズを選び、様々な技法 をもちいて作品に仕上げることができるか。	0	0	0	22
子期	鑑賞を通して、様々な作品に触れたり、表現方法の参考にする。	・指導事項 総 ・数材 等 完成作品・教科書・画集・映像など			0	0	【知識・技能】 教科書や参考書籍、映像などを通し、美術の多様性を 学べたか。 【思考・判断・表現】 作者の意図や、作品がもつ魅力を自分なりに解釈し感 想を述べることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の表現を理解しようとしたか。	0	0	0	4
3 学	確にしながら取り組む。	・指導事項 ・指導事項 ・教材 ・教材 ・色画用紙、筆記具など	0			0	【知識・技能】 立体カード制作の方法を学べたか。 【思考・判断・表現】 誰にあてたメッセージなのか、それにちなんだ作品な のかを考えながら制作できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 計画的に創作することができたか。	0	0	0	12
子 期	鑑賞を通して、様々な作品に触れたり、表現方法の参考にする。	・指導事項 鑑賞 ・教材 等 教科書・画集・映像など				0	【知職・技能】 教科書や参考書籍、映像などを通し、美術の多様性を 学べたか。 【思考・判断・表現】 作者の意図や、作品がもつ魅力を自分なりに解釈し感 想を述べることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の表現を理解しようとしたか。	0	0	0	2 合計 70

高等学校 令和7年度 教科 芸術 科目 書道 I 2

教 科: 芸術 対象年次: 科 目: 年次 書道 I (再履修除く) 単位数: 単位 2. 3. 4

2 <u>3</u> **4**) (5) (11) 6 12 藤倉 藤倉 藤倉 教科担当者: (14) (15) (16) 17) 18) 書道 | 東京書籍 使用教科書:

の目標: 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文の目標: 化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎 教科 芸術

【知識及び技能】 的な技能を身に付けようとする。 即なび配とずにPITはリステッツ。 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情と育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

の目標: 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 書の良さや、美しさを感じ、味わいを捉える 主体的に書の表現に幅広く取り組む 科目 書道 I 【知識及び技能】 書の表現、形式、多様性を理解している

	I										
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		表現 漢 (鑑页賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
	A 単元 【知識及び技能】 書道用具、用材についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 書体を考え、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に幅広く取り組む	 ・指導事項 書写から書道へ ・教材 用具、用材について ・教科書を手本とする 		0		【知識・技能】 用具、用材の理解できたか 【思考・判断・表現】 自身判断して、運筆できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の表現にもとずいて、主体的に取りくめたか	0	0	0	6	
1		・指導事項 楷書の基本点画の学習・教材 教科書参考とプリント		0		【知識・技能】 楷書の太筆の使い方 【思考・判断・表現】 名称を理解しての運筆ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 楷書の基本点画を主体的に取り組めたか	0	0	0	6	
学期		・指導事項 文化祭展示作品作成・教材 書体字典 等		0		【知識・技能】 練習の成果 【思考・判断・表現】 半紙と文字とのバランスはどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 選んだ文字の完成	0	0	0	6	
	自身好みの文字を探し練習 書体も考える。字典も使用 二種類は探す。興味のある方文字を見つ ける	·指導事項 文化祭作品完成 ·教材 書体字典 等		0		作品清書、完成提出 半紙、文字、名前、全体のバランス。 作品清書できたか	0	0	0	6	
2		楷書古典作品 孔子廟堂碑 教 科書	0			楷書古典作品運筆技能の取得	0	0	0	16	
学期	行書の書体書風、筆使い、楷書との違い を知る。 行書の特徴を理解する。	行書古典作品 蘭亭序 教科書		0 0	0	行書基本点画の取得。 行書の特徴の理解 行書作品に興味を持てたか	0	0	0	16	
3		学習発表会展示作品 書体字典		0		中色紙サイズでの練習	0	0	0	10	
学期		学習発表会展示作品 書体字典		0 0	0	作品清書、完成 全体のバランス 集大成	0	0	0	4 合計 70	

科目 工芸 [高等学校 令和7年度 教科 芸術

教 件: 云州		件 日:	ᅩᆽᅵ			単122数:	 卑 124
対象年次:	2. 3. 4	年次	(再履修除く)				
				_		_	_
教科担当者: ①:	黒田千紘	2	黒田千紘	3	黒田千紘	4	5
X1112=11	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		I 1		
(<i>I</i>)		8		9		10	11)

6 12 18 日本文教出版 工芸 I 15 16) (Ī) 使用教科書:

本の目標: 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸の目標: 術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにす 教科 芸術 【知 識 及 び 技 能】

w。 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意 識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

の目標: 工芸の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化 科目 工芸 I

	と幅広く関わる質貝・能力を育成することを目指す	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	美しい形や使いやすい形を自分なりに考え、こだわりを持った構想	
ことができる。 学んだ技法や自身の経験を制作に活かすことができる。		工芸作品の歴史的価値や現状を理解し、工芸へ向かう自分なりの考えを持つ。
	自身の制作に反映させる。	4 7 W 7 L E 19 2 0

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容			鑑賞			思	態	配当 時数
1		・指導事項 はりこ ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイン ト、新聞、ガムテープ、半紙(和 紙)、ジェッソ、アクリル絵の具	0		0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 技法の特性を活かした制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 素材や技法の良さを取り入れた作品を制作でき たか。	0	0	0	16
与其	# B 単元 知識及び技能] 素材の扱い方を学び、表現したい図柄を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等] 螺鈿の特徴を活かしたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等] 自身が美しいと思うデザインを表現できる。	・指導事項 螺細 ・教材 等 プリント、教科書、のこぎり、やす り、デザインカッター、木材、水性 ウレタン漆、青貝シート		0	0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 螺鈿の色合いや雰囲気を活かした作品を仕上げ られたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現したいと思ったことを表現できているか。	0	0	0	8
2		・指導事項 螺細 ・数材 等 プリント、数科書、のこぎり、やす り、デザインカッター、木材、水性 ウレタン漆、青貝シート		0	0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 螺細の色合いや雰囲気を活かした作品を仕上げ られたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現したいと思ったことを表現できているか。	0	0	0	8
学	で単元 【知識及び技能】 金属の加工の仕方を学び、意図した形に成 形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能と美しさを兼ね備えたデザインを考え ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実用性とデザイン性を重視し、使いたくな るものを作れるようになる。	プリント、教科書、糸のこぎり、や すり、研磨剤、真鍮板	0		0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 機能とデザイン性を兼ね備えた作品ができた か。 【主体的に学習に取り組む態度】 使う人のことを想定した作品を作れたか。	0	0	0	24
3 号 其	☆ えて、使り人や場面を想定したものつくり ができるようになる。	・指導事項 陶芸 ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイン ト、粘土、手回しろくろ、たたら 板、のばし棒	0	0	0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 使用する場面や用途を想定した制作ができた か。 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に日常で使用することを想定した作品が作 れたか。	0	0	0	8
斯	度単元 【知識及び技能】 七宝絵の具の適切な取り扱いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 限られた焼成回数でできるデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 こだわりを持って制作ができる。	・指導事項 七宝 ・教材 等 プリント、教科書、パワーポイン ト、銅板、七宝絵の具	0		0	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に 道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 化上がりまでの段取りを逆算して制作ができた か。 【主体的に学習に取り組む態度】 こだわりを持って制作できたか。	0	0	0	6 合計 70